

2019年12月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2019年8月8日

上場会社名 株式会社ダイキアキス 上場取引所 東
 コード番号 4245 URL <http://www.daiki-axis.com>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 大亀 裕
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 副社長執行役員 (氏名) 堀淵 昭洋 (TEL) 089(927)2222
 四半期報告書提出予定日 2019年8月9日 配当支払開始予定日 2019年9月6日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2019年12月期第2四半期の連結業績(2019年1月1日～2019年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年12月期第2四半期	17,848	2.4	504	2.2	575	△3.5	214	△32.4
2018年12月期第2四半期	17,429	4.8	493	△16.5	596	△8.0	317	△16.4

(注) 包括利益 2019年12月期第2四半期 227百万円(174.4%) 2018年12月期第2四半期 83百万円(△79.1%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2019年12月期第2四半期	17.89	—
2018年12月期第2四半期	26.50	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2019年12月期第2四半期	30,434	8,808	22.4
2018年12月期	27,036	6,717	24.8

(参考) 自己資本 2019年12月期第2四半期 6,808百万円 2018年12月期 6,717百万円

※「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、2018年12月期の連結財政状態については、当該会計基準等を遡って適用した後の指標等となっております。

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2018年12月期	—	12.00	—	12.00	24.00
2019年12月期	—	12.00	—	—	—
2019年12月期(予想)	—	—	—	12.00	24.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

(注) 2018年12月期第2四半期期末配当金の内訳 普通配当 10円00銭 記念配当 2円00銭
 2018年12月期期末配当金の内訳 普通配当 10円00銭 記念配当 2円00銭

3. 2019年12月期の連結業績予想(2019年1月1日～2019年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	36,880	1.8	1,200	30.0	1,300	18.1	800	△7.1	66.74

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2019年12月期2Q	12,408,800株	2018年12月期	12,408,800株
② 期末自己株式数	2019年12月期2Q	394,598株	2018年12月期	418,798株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2019年12月期2Q	11,995,082株	2018年12月期2Q	11,986,024株

(注) 期末自己株式数および期中平均株式数(四半期累計)の計算において控除する自己株式数には、BBT信託およびJ-ESOP信託が保有する当社株式数が含まれております。

※ 四半期決算短信は公認会計士または監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (1) 経営成績に関する説明」をご覧ください。

(決算補足説明資料の入手方法について)

当社は、下記日程にて決算説明会を開催する予定です。この説明会で配布する決算説明資料については、開催後速やかに当社ホームページに掲載する予定です。

機関投資家向け：2019年8月29日(木)

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表および主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書および四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	11
(継続企業の前提に関する注記)	11
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	11
(追加情報)	11
(セグメント情報等)	12

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

① 当社グループの経営成績

	前第2四半期 連結累計期間	当第2四半期 連結累計期間	増減額	増減率
売上高	174億29百万円	178億48百万円	+4億19百万円	+2.4%
営業利益	4億93百万円	5億4百万円	+11百万円	+2.2%
経常利益	5億96百万円	5億75百万円	△20百万円	△3.5%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	3億17百万円	2億14百万円	△1億2百万円	△32.4%

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府や日銀による経済・金融政策を背景に雇用・所得環境や企業収益の改善がみられ、緩やかな回復基調が続いております。一方、海外においては、通商問題などの影響による景気の下振れリスク等、不透明な状況で推移いたしました。

このような状況のもと、2019年度から2021年度の中期経営計画「Make FOUNDATION Plan(ESG 経営の推進)」を策定し挑戦することといたしました。

まず最初に、ガバナンス強化と業務執行の迅速化のため、経営機構改革として監査等委員会への移行と執行役員制度の導入を行いました。

また、主な事業戦略としては、将来の収益性の向上に重点を置き、環境機器関連事業セグメントにおいては、海外における事業展開の推進、ストックビジネスとしてのメンテナンス事業および上水エスコ事業の営業強化、住宅機器関連事業セグメントにおいては、ECビジネスを開始するなど安定事業から成長事業への転化、再生可能エネルギー関連事業においては、循環型社会の実現と安定収益確保の強化を実施してまいりました。

しかしながら、後述の環境機器関連事業セグメントにおいて、前期に受注した工事案件で、赤字工事が発生するなど、前期末の外注コスト増加および受注額改善等の課題について解消に至りませんでした。これらについては、経営課題として改めて検討・改善する所存でございます。

なお、販売費及び一般管理費等については人件費中心に圧縮し、営業利益は前年同四半期並みとなりましたが、営業外収益で前年同四半期に計上した補助金収入同等額が当第2四半期連結累計期間は収益発生しなかったことや、連結における税金費用の比率が高まったことなどにより、親会社株主に帰属する四半期純利益は前年同四半期と比べ減少いたしました。

② セグメントごとの経営成績

セグメントごとの経営成績は次のとおりであります。

(環境機器関連事業)

	前第2四半期 連結累計期間	当第2四半期 連結累計期間	増減額	増減率
売上高	83億75百万円	95億15百万円	+11億40百万円	+13.6%
セグメント利益(営業利益)	5億93百万円	4億89百万円	△1億3百万円	△17.5%

浄化槽排水処理システムは前年同期と比べ増加いたしました。要因として、国内売上高では、大型案件(電気部品工場関連)の受注増額完成があったこと、メンテナンス収入および海外売上高では、昨年11月に株式を取得したシンガポールにおけるプールメンテナンス会社のCRYSTAL CLEAR CONTRACTOR PTE. LTD. が今期から安定的に売上計上したことなどございました。

また、上水事業(エスコを除く)で機器売り5案件の完成があったことなど、前年同四半期と比べ増加いたしました。なお、インド製浄化槽については当第2四半期連結累計期間から販売を開始し、ストックビジネスの上水事業エスコ収入については前年同四半期と比べ増加いたしました。

しかし、利益面では、前述の大型案件(電気部品工場関連)において、外注工事費の増加があり、受注金額が増額となったものの、当該案件全体利益で23百万円の赤字となったことから、前連結会計年度に工事進行基準で計上した利益88百万円を戻し入れる結果となりました。また、前述とは別に、国内の大型案件(ゴミ処理場排水関連)において、外注工事費の増加が見込まれるなど、他の案件を含め計2件において工事損失引当金として99百万円を見込計上することとなりました。

(住宅機器関連事業)

	前第2四半期 連結累計期間	当第2四半期 連結累計期間	増減額	増減率
売上高	81億9百万円	70億61百万円	△10億48百万円	△12.9%
セグメント利益(営業利益)	3億8百万円	2億3百万円	△1億5百万円	△34.2%

建設関連業者売上においては前期と比べ中大型案件が少なく、ホームセンターリテール商材においては既存店への販売が減少したこと、また、住機部門工事においては前年同四半期の大型店舗建築工事と同規模の案件がなかったことにより前年同四半期と比べ減少いたしました。

(再生可能エネルギー関連事業)

	前第2四半期 連結累計期間	当第2四半期 連結累計期間	増減額	増減率
売上高	93百万円	3億4百万円	+2億11百万円	+227.6%
セグメント利益(営業利益) または セグメント損失(営業損失)(△)	△72百万円	1億7百万円	+1億79百万円	-%

太陽光発電に係る売電事業において、順次売電を開始し前年同四半期より大幅に増加いたしました。バイオディーゼル燃料事業においては、前年同四半期と比べバイオディーゼル燃料の販売が増加いたしました。小形風力発電機関連事業については、機器販売の実績はありませんでしたが、当第2四半期連結会計期間から小形風力発電に係る売電事業を開始いたしました。

(その他の事業)

	前第2四半期 連結累計期間	当第2四半期 連結累計期間	増減額	増減率
売上高	8億51百万円	9億66百万円	+1億15百万円	+13.6%
セグメント利益(営業利益)	90百万円	87百万円	△2百万円	△3.1%

土木工事業については、前年同四半期と比べ堅調に推移いたしました。また、家庭用飲料水事業については、前年同四半期並みに推移いたしました。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産

	前連結会計年度	当第2四半期 連結会計期間	増減額	増減率
流動資産	187億63百万円	212億2百万円	+24億38百万円	+13.0%
固定資産	82億72百万円	92億32百万円	+9億59百万円	+11.6%
資産合計	270億36百万円	304億34百万円	+33億97百万円	+12.6%

太陽光発電に係る売電事業に係る発電設備の新規建設を前連結会計年度より引き続き行っており、同事業に係る資金調達として借入および第三者割当増資(種類株式の発行)を実施したことにより、流動資産・固定資産ともに大きく増加しております。また、大型案件に係る債権の回収や前連結会計年度末に未成であった工事案件の完成等により売上債権・未成工事支出金は減少しております。

② 負債・純資産

	前連結会計年度	当第2四半期 連結会計期間	増減額	増減率
流動負債	188億63百万円	202億59百万円	+13億95百万円	+7.4%
固定負債	14億54百万円	13億66百万円	△88百万円	△6.1%
純資産	67億17百万円	88億8百万円	+20億90百万円	+31.1%
負債・純資産合計	270億36百万円	304億34百万円	+33億97百万円	+12.6%

前述のとおり、太陽光発電に係る売電事業に係る資金調達として借入および第三者割当増資(種類株式の発行)を実施したことにより、流動負債・純資産ともに大きく増加しております。また、大型案件の完成に伴い未成工事受入金および工事未払金は減少しております。

③ キャッシュ・フローの状況

	前第2四半期 連結累計期間	当第2四半期 連結累計期間	増減額
現金及び現金同等物	49億35百万円	102億87百万円	+53億52百万円
営業活動によるキャッシュ・フロー	2億48百万円	3億66百万円	+1億18百万円
投資活動によるキャッシュ・フロー	△10億46百万円	△14億60百万円	△4億13百万円
財務活動によるキャッシュ・フロー	13億4百万円	54億24百万円	+41億19百万円

(当連結会計年度の主な内訳)

科目	主な内訳
営業活動によるキャッシュ・フロー	主に、税金等調整前四半期純利益5億61百万円、減価償却費2億73百万円、売上債権の減少額10億58百万円、たな卸資産の減少額7億91百万円、仕入債務の減少額12億55百万円、未成工事受入金の減少額4億26百万円および法人税等の支払額5億21百万円によるものであります。
投資活動によるキャッシュ・フロー	主に、有形固定資産の取得による支出14億65百万円および投資有価証券の売却による収入84百万円によるものであります。
財務活動によるキャッシュ・フロー	主に、短期借入金の増加額37億67百万円および非支配株主からの払込みによる収入20億円によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第2四半期連結累計期間の業績は、2019年2月14日に公表しました予想値を下回りました。詳細は、本日公表の「第2四半期連結業績予想値と実績値との差異に関するお知らせ」をご覧ください。

2. 四半期連結財務諸表および主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2018年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6,013,630	10,323,366
受取手形及び売掛金	6,303,017	5,827,788
完成工事未収入金	2,927,820	2,345,808
商品及び製品	302,065	367,321
仕掛品	17,477	7,501
未成工事支出金	2,394,603	1,578,239
原材料及び貯蔵品	284,235	253,910
その他	590,296	589,137
貸倒引当金	△69,492	△90,986
流動資産合計	18,763,654	21,202,087
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	1,812,760	1,822,450
減価償却累計額	△579,207	△620,884
建物及び構築物（純額）	1,233,552	1,201,566
機械装置及び運搬具	5,582,530	6,327,045
減価償却累計額	△2,261,309	△2,426,556
機械装置及び運搬具（純額）	3,321,220	3,900,489
土地	1,449,883	1,465,609
建設仮勘定	266,406	809,057
その他	599,840	645,232
減価償却累計額	△533,090	△552,549
その他（純額）	66,750	92,683
有形固定資産合計	6,337,813	7,469,405
無形固定資産		
のれん	507,406	466,601
その他	39,707	52,706
無形固定資産合計	547,113	519,307
投資その他の資産		
投資有価証券	360,329	321,446
その他	1,234,232	1,128,803
貸倒引当金	△206,533	△206,686
投資その他の資産合計	1,388,027	1,243,563
固定資産合計	8,272,954	9,232,277
資産合計	27,036,608	30,434,364

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2018年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,118,412	1,865,180
工事未払金	2,206,518	1,202,911
短期借入金	10,336,152	14,099,992
1年内返済予定の長期借入金	387,252	283,199
未払法人税等	480,155	219,540
未成工事受入金	1,500,887	1,075,036
賞与引当金	196,832	27,354
引当金	157,712	165,779
その他	1,480,039	1,320,014
流動負債合計	18,863,963	20,259,009
固定負債		
長期借入金	286,953	194,880
引当金	138,531	127,595
資産除去債務	226,285	301,808
その他	802,977	742,235
固定負債合計	1,454,747	1,366,519
負債合計	20,318,711	21,625,528
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,983,290	1,983,290
資本剰余金	1,766,394	1,766,394
利益剰余金	3,401,220	3,466,895
自己株式	△306,752	△294,892
株主資本合計	6,844,152	6,921,686
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△13,302	5,414
為替換算調整勘定	△112,952	△118,265
その他の包括利益累計額合計	△126,254	△112,850
非支配株主持分	—	2,000,000
純資産合計	6,717,897	8,808,836
負債純資産合計	27,036,608	30,434,364

(2) 四半期連結損益計算書および四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年1月1日 至 2018年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年6月30日)
売上高	17,429,216	17,848,702
売上原価	14,078,812	14,515,934
売上総利益	3,350,403	3,332,768
販売費及び一般管理費	2,857,287	2,828,613
営業利益	493,116	504,154
営業外収益		
受取利息	2,006	1,417
受取配当金	7,416	2,242
仕入割引	82,769	85,568
持分法による投資利益	1,574	—
その他	52,250	37,737
営業外収益合計	146,019	126,967
営業外費用		
支払利息	17,118	20,490
持分法による投資損失	—	5,493
株式交付費	—	14,465
貸倒引当金繰入額	△430	△301
支払手数料	16,445	10,899
その他	9,389	4,440
営業外費用合計	42,522	55,486
経常利益	596,613	575,635
特別利益		
固定資産売却益	691	1,297
投資有価証券売却益	1,710	506
特別利益合計	2,402	1,803
特別損失		
固定資産除却損	6,666	0
減損損失	—	6,804
投資有価証券売却損	—	9,219
その他	1,475	—
特別損失合計	8,142	16,023
税金等調整前四半期純利益	590,872	561,414
法人税、住民税及び事業税	244,939	238,491
法人税等調整額	28,359	108,345
法人税等合計	273,298	346,836
四半期純利益	317,574	214,577
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	—
親会社株主に帰属する四半期純利益	317,574	214,577

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2018年1月1日 至2018年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2019年1月1日 至2019年6月30日)
四半期純利益	317,574	214,577
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△173,569	18,717
為替換算調整勘定	△59,903	△4,217
持分法適用会社に対する持分相当額	△1,010	△1,095
その他の包括利益合計	△234,484	13,404
四半期包括利益	83,089	227,982
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	83,089	227,982
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2018年1月1日 至2018年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2019年1月1日 至2019年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	590,872	561,414
減価償却費	212,042	273,159
のれん償却額	22,278	40,326
株式交付費	—	14,465
減損損失	—	6,804
貸倒引当金の増減額(△は減少)	17,344	21,428
賞与引当金の増減額(△は減少)	9,274	△169,437
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	△6,850	△63,232
製品保証引当金の増減額(△は減少)	276	△9,971
完成工事補償引当金の増減額(△は減少)	△3,471	7,707
工事損失引当金の増減額(△は減少)	2,639	73,403
受取利息及び受取配当金	△9,423	△3,660
支払利息	17,118	20,490
持分法による投資損益(△は益)	△1,574	5,493
固定資産売却損益(△は益)	△691	△1,297
固定資産除却損	6,666	0
投資有価証券売却損益(△は益)	△1,710	8,713
売上債権の増減額(△は増加)	371,307	1,058,305
たな卸資産の増減額(△は増加)	△132,659	791,136
未収入金の増減額(△は増加)	10,938	132,143
仕入債務の増減額(△は減少)	△607,965	△1,255,529
未成工事受入金の増減額(△は減少)	△28,892	△426,052
その他	92,925	△180,549
小計	560,445	905,260
利息及び配当金の受取額	9,190	3,335
利息の支払額	△16,625	△20,477
法人税等の支払額	△304,996	△521,206
営業活動によるキャッシュ・フロー	248,012	366,912
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△28,000	△16,000
定期預金の払戻による収入	51,080	24,000
有形固定資産の取得による支出	△1,062,497	△1,465,978
有形固定資産の売却による収入	52,839	1,297
投資有価証券の取得による支出	△105,934	△36,276
投資有価証券の売却による収入	121,857	84,650
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	△59,899	—
貸付けによる支出	—	△8,163
貸付金の回収による収入	2,299	2,100
差入保証金の差入による支出	△2,662	△2,533
その他	△16,068	△43,508
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,046,986	△1,460,412

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年1月1日 至 2018年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年6月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の増減額 (△は減少)	1,816,822	3,767,081
長期借入金の返済による支出	△357,346	△167,566
配当金の支払額	△124,086	△148,903
株式の発行による支出	—	△14,465
非支配株主からの払込みによる収入	—	2,000,000
自己株式の取得による支出	△96	—
リース債務の返済による支出	△30,560	△11,725
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,304,732	5,424,422
現金及び現金同等物に係る換算差額	△26,678	△13,185
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	479,080	4,317,736
現金及び現金同等物の期首残高	4,456,200	5,969,630
現金及び現金同等物の四半期末残高	4,935,281	10,287,366

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示しております。

(セグメント情報等)

前第2四半期連結累計期間(自 2018年1月1日 至 2018年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高および利益または損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注)	合計
	環境機器 関連	住宅機器 関連	再生可能 エネルギー 関連	計		
売上高						
外部顧客への売上高	8,375,064	8,109,842	93,099	16,578,006	851,210	17,429,216
セグメント間の 内部売上高または振替高	6,749	1,252	80	8,082	62	8,145
計	8,381,814	8,111,094	93,179	16,586,088	851,272	17,437,361
セグメント利益 または損失(△)	593,571	308,664	△72,363	829,872	90,070	919,943

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、家庭用飲料水事業および土木工事業を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益または損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額および当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	829,872
「その他」の区分の利益	90,070
セグメント間取引消去	75,804
全社費用(注)	△502,630
四半期連結損益計算書の営業利益	493,116

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失またはのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

第1四半期連結会計期間において、フジムラインベント株式会社(現、株式会社DAインベント)の株式を取得し、新たに連結の範囲に含めたことに伴い、「環境機器関連」セグメントにおいてのれんが108,157千円増加しております。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

当第2四半期連結累計期間(自 2019年1月1日 至 2019年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高および利益または損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				その他 (注)	合計
	環境機器 関連	住宅機器 関連	再生可能 エネルギー 関連	計		
売上高						
外部顧客への売上高	9,515,161	7,061,654	304,992	16,881,808	966,894	17,848,702
セグメント間の 内部売上高または振替高	11,609	41,623	434	53,667	117	53,784
計	9,526,771	7,103,277	305,426	16,935,475	967,011	17,902,487
セグメント利益	489,818	203,203	107,545	800,567	87,313	887,881

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、家庭用飲料水事業および土木工事業を含んでおります。なお、前連結会計年度末より「クリクラ事業」を「家庭用飲料水事業」に名称変更いたしました。また、前第2四半期連結累計期間の名称は変更後の名称に基づき表示しております。

2. 報告セグメントの利益または損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額および当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	800,567
「その他」の区分の利益	87,313
セグメント間取引消去	83,287
全社費用(注)	△467,014
四半期連結損益計算書の営業利益	504,154

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失またはのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「環境機器関連」セグメントにおいて、固定資産の減損損失を計上しております。なお、当第2四半期連結累計期間の当該減損損失の計上額は、6,804千円であります。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。